

■「細川」「県美」■
コレクション展
 HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION
Collection

来年度の主な展覧会(予定)

特別展「熊本⇄東京 画家たちの上京物語」
 2014年7月19日(土)～8月31日(日)

細川コレクション展Ⅲ(特集)重要文化財指定記念「信長からの手紙」
 ～細川コレクションの信長文書59通一挙公開～
 2014年10月10日(金)～12月14日(日)

特別展「パスキン展 エコール・ド・パリの寵児—モンパルナスの祝祭と悲劇」
 2014年10月下旬～2015年1月中旬

関連イベント

ミュージアムセミナー

展覧会の内容や当館の活動に関するくわしい話、美術や歴史についての裏話などを楽しくご紹介するセミナーです。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

1月25日(土)14:00～15:00
 「描かれた馬の系譜～古代から近世まで～」
 講師:当館学芸員 金子 岳史
 会場:本館講堂

3月1日(土)14:00～15:00
 「ポップ・アートとアメリカの版画工房」
 講師:当館学芸員 村上 哲
 会場:本館講堂

子ども美術館

展覧会の内容にあわせ、美術や歴史の理解につながる子ども向けのワークショップを開催します。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。ただし、展示室に入場される場合には、観覧料が必要となりますのでご注意ください。

1月19日(日)10:30～12:00
 「うま、ウマ、馬がいっぱい」
 2月9日(日)10:30～12:00
 「ボンボン ポップ・アート」

学芸員による
 ギャラリートーク

会期中の毎月第二・第四日曜日の14時から、当館学芸員が展示作品について30分程度解説いたします。開始時間前に二階会場入口までお越しください。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。

1月12日(日)、1月26日(日)
 2月9日(日)、2月23日(日)
 3月9日(日)、3月23日(日)
 14:00～14:30

休館日のお知らせ 12月24日(火)～1月8日(水)

交通案内

Transportation guide

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)三の丸駐車場(有料)



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館
 本館 〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART
COLLECTION EXHIBITION



第四期

IV

■「細川」「県美」■

コレクション展
 HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION
Collection

細川コレクション

<特集> 馬の美術

<常設> 細川家の雛飾り、武具、江戸時代絵画ほか

県美コレクション

<特集> ポップ・アートとアメリカ版画

<常設> 熊本ゆかりの名書家、フランス絵画ほか

■細川コレクション常設展示室(別棟展示室+二階展示室第1室)

主催/熊本県立美術館・熊本日日新聞社・RKK熊本放送
 協力/熊本ルネッサンス県民運動本部 肥後銀行
 特別協力/公益財団法人 永青文庫

■県立美術館コレクション展示室(二階展示室第2・3室)

主催/熊本県立美術館

2014. 1. 9. Thu. → 3. 23. Sun. ※作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。

熊本県立美術館本館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番 Tel.096-352-2111 Fax.096-326-1512

開館時間/9時30分～17時15分(入館は16時45分まで)

休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館) 年末年始休館 12/24(火)～1/8(水)

観覧料金

- 共通券/一般400円(300円) 大学生240円(180円)
- 別棟展示室のみ/一般200円(150円) 大学生120円(100円)
- 本館二階展示室のみ/一般260円(190円) 大学生160円(120円)

高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方無料
 ※()内は20名以上の団体料金 ※先売券なし



細川コレクション

公益財団法人永青文庫の所蔵品を通じて、熊本の歴史や美術、そして細川家の大名文化を総合的に紹介する「細川コレクション」。第Ⅳ期では、「馬の美術」の特集展示を行うとともに、近代細川家の豪華な雛飾りをはじめ、細川家に伝わる武具甲冑や華麗な屏風、《領内名勝図巻》、近代の婚礼調度を展示します。

「細川」「県美」 コレクション展 Collection

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

県美コレクション

熊本県立美術館が所蔵する美術品を通して、熊本の美術や歴史、東西の名品などを紹介する「県美コレクション」。第Ⅳ期では、「ポップ・アートとアメリカ版画」の特集展示を行うとともに、阿蘇家ゆかりの浜の館跡出土品(重文)や肥後の金工・陶磁器、熊本ゆかりの名書家の作品などを紹介します。西洋絵画の常設コーナーでは、ブーグロー、ルノワールなどフランス絵画の珠玉の作品群を展示します。

常設:本館二階第1室



伝林又七 重要文化財《破扇散図》
江戸時代初期 永青文庫所蔵



《雛人形》
大正3年頃 熊本県立美術館所蔵



狩野探信守道《群鶴図屏風》(左隻)
江戸時代後期 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託
※展示期間1/9~2/9

《黒革包豚木糸射向紅威具足》
江戸時代末期 細川韶邦所用
永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

特集:別棟展示室

※別棟のみの観覧料金も
ございます。

馬の美術

歴史上において、馬と人間は密接な関わりを持っていました。とくに武士のあいだでは、良い馬を持つことがステータスであり、厩は屋敷の奥に設置され、つねに綺麗に掃除され、馬の毛並みも整えられていました。そして、装飾された馬具や、さまざまな馬の姿を描いた屏風など、馬にまつわる調度品も盛んに制作されました。細川家にも、そういった馬具や屏風が豊富に伝わります。平成26年は午年ということもあり、新年最初の展覧会として、細川家伝来の絵画を中心として、「馬」にまつわるさまざまな作品を展示し、人と馬の関わりを探りたいと思います。



重要文化財《巴螺細鞍》
鎌倉時代 個人蔵 熊本県立美術館寄託
※展示期間1/9~2/16



《馬図鼓盃》
江戸時代中期
永青文庫所蔵
熊本県立美術館保管



狩野探信守政《牧馬図屏風》(右隻)
江戸時代中期
永青文庫所蔵
熊本県立美術館寄託



《犬追物図屏風》(左隻)
江戸時代前期
永青文庫所蔵
熊本県立美術館寄託

常設:本館二階第2・3室



ウィリアム・アドルフ・ブーグロー《キューピッド》
1860年 熊本県立美術館所蔵



重要文化財 浜の館跡出土品《華南三彩鳥型水注》
中国・明時代 熊本県所蔵



北島雪山《花竹琴書詩酒屏風》
江戸時代前期 熊本県立美術館所蔵
※展示期間1/9~2/9

特集:本館二階第3室

ポップ・アートとアメリカ版画

ポップ・アートは、資本主義社会の成熟のもと、20世紀後半のアメリカを舞台に多彩な展開をみせた動向です。「ポピュラー＝大衆的」という言葉を語源に持つこの芸術思潮は、コーラや漫画など消費社会に溢れる大衆的なイメージを鮮烈なアート表現へと変貌させ、今なお強い影響をおよぼし続けています。今回の特集展示では、ポップ・アートを中心にスーパー・リアリズムや抽象など多様な造形世界を、版画工房の活動も交えて紹介します。リキテンスタイン、ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、サム・フランシス、フランク・ステラなど、アメリカン・アートを代表する巨匠たちの競演をお楽しみください。



ロイ・リキテンスタイン《泣く女》
1963年 リトグラフ
©Estate of Roy Lichtenstein, NY & JASPAR, Tokyo, 2013 E0772



アンディ・ウォーホル《ヨゼフ・ボイス》
1980-83年 スクリーンプリント
©The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts / ARS, New York & JASPAR, Tokyo, 2013 E0772

「永青文庫」 とは？

永青文庫は、江戸時代に肥後熊本の地を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料等を保存・研究するために設立された公益財団法人です。細川家の「始祖」とされる細川頼有が眠る京都建仁寺の「永源庵」の「永」と、近世細川家の「初代」とされる細川藤孝(幽齋)の旧領・京都西岡の「青龍寺城(勝龍寺城)」から「青」の一字をとり、第16代細川護立氏によって命名・設立されました。当館では、東京の公益財団法人永青文庫が所蔵する様々な美術工芸品や近世屏風、そして近代日本画などを展示できるよう「細川コレクション常設展示室」を設立し、およそ3ヶ月ごとに展示替えを行いながら、永青文庫の名品を常時展示しております。



浜田知明版画室

浜田知明版画室では、熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の作品を常設展示しています。今期は、1976年の《気にしない 気にしない》から、《家族》や《男と女》、《月夜》、1978年の《風化する街(B)》まで、計10点の銅版画作品を展示します。この頃、作者は50代の終わりから60歳。体調不良から回復し、さらに2年後のヨーロッパでの展覧会が決まり、新たな作品の制作にも意欲を燃やして来た頃です。彫刻は2点、1992年の《家族》と、《ヘルムアフロディテ》です。ユニークな浜田作品をご覧ください。

浜田知明《何とかなるさ》昭和51(1976)年 熊本県立美術館蔵

